本郷台小だより

２月

横浜市立本郷台小学校
令和４年１月３１日
栄区本郷台一丁目６番１号
TEL 045−893-4010

学校ホームページ：https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/

自分の花を咲かせ

校長　　原　南実子

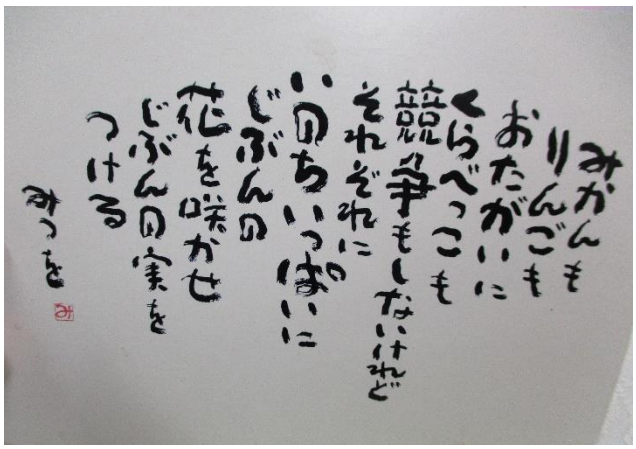
寒さが厳しい今日この頃、花壇に霜柱ができる日も多くなりました。そんな中、環境広報委員が秋に植えた水仙やチューリップの球根から芽が出始め、菜の花も本葉を４枚ほどつけるくらい成長しています。寒さの中に春の足音が聞こえてくるようで嬉しくなります。

さて、新型コロナウイルスのオミクロン株による感染が急増しています。横浜市内の小中学校、そして保育園や幼稚園での感染状況も広がりを見せ、心配な状況が続いています。本郷台小学校でも、基本的な感染防止対策を徹底しながら学習活動や行事を進めてまいります。

明日から２月。６年生は残すところ 30 日あまりとなりました。この時期の子ども達を見ると、この一年の成長ぶりがよく見えます。１ 年生は、友達や周りの人とのかかわり方が豊かになり、大きな成長を感じます。２ 年生は、友達の考えを聞き合いながら、皆で学習を進めていく頼もしさが育っています。３年生は、自分たちの思いを実現に向けて実行する力がぐんぐん伸びています。４年生は、積極的に人や物事に関わり、自分たちで学びを創り上げようとする意志の力が育っています。５ 年生は、学校を支える高学年としての自覚が高まり、自分たちの意思で実行し、学校に明るい風を吹かせる行動力が育っています。６ 年生は、最高学年として最後まで学校を支える役目を果たそうと、創意工夫しながら学校全体を明るく元気にリードしています。リードする難しさを味わいながら乗り越えてきたこれまでの努力が実っています。５・６・７ 組は、たくさんの人と関わり、関わることの楽しさや嬉しさを積み重ね、コミュニケーションの力を伸ばしています。

こうした成長ぶりのなか、どの学年、どのクラスでも感じる育ちは、一人ひとり、自分らしさが磨かれている、ということです。磨き合っているといってもいいかもしれません。クラスでの学習の様子をみると、友達の発表にうなずいたり、意見を重ねたり、違う意見に対して自分の考えを広げることができたと伝えたり、また、友達のよさを伝えあったりする姿がよく見られるようになりました。また、絵をかいたり作品をつくったり、音楽をつくったり、文章表現をしたりする表現活動では、一人ひとりにその子らしさが表れています。自己発揮ができています。掲示してある作品を見ると、当たり前かもしれませんが、どれ一つ同じものがなく、それぞれの個性が光っていて、とても素敵だと感じます。作品を見合いながら、それぞれの感じ方、表現の仕方を認め合ったり楽しんだりする姿も見られます。

こうした姿は、「みんなちがってみんないい」という、お互いを大切にする営みを積み重ねてきた証なのではないかと感じます。また、夢中になる学びがあり、それに向かってみんなで取り組んできたことが育てた姿なのではないかと思います。一人ひとりが、自分を大切に、友達を大切に思いながら豊かな時間と豊かな気持ちと学びを共に創り上げていける教育活動を、学年の締めくくりのこの時期、更に大切にし、充実させていきたいと思います。



ずいぶん前になりますが、有楽町駅の近くにある「相田みつお美術館」に行ったとき、胸を打つ詩に出会いました。その子らしさを大切にすること、一人ひとりが豊かに育っていくこと、一人ひとりが大切にされて育っていくこと願いながらその詩を紹介します。子ども達の育ちの姿にこの詩が重なりました。